



一中だより

浜田市立第一中学校学校便り 第10号
令和6年2月19日(月)

〒697-0024 浜田市黒川町3745
TEL 0855-22-0946
FAX 0855-22-0947
E-mail dail@hamada.ed.jp



「よりよい学校づくりをめざして～学校評価結果を受けて～」

校長 川田 英樹

12月に今年度の学校評価についてのアンケートを行いました。職員、生徒、保護者のそれぞれの立場から、今年度の教育活動を振り返ってもらい、その結果を基に課題と今後の改善に向けての手だてについて職員で検討しましたのでお知らせします。アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

中期経営目標	重点項目	評価指標	目標値%	アンケート			
				職員	生徒	保護者	評価
「人を人として大切に思う心」の育成	積極的な生徒指導の推進	生徒同士がお互いの考えを認め合える授業や居場所づくりが行われていると考える割合	85	95.0	89.4	63.2	B
	道徳教育の充実	自分のこととして捉えたり、自他のことを考えたりすることができた割合	70	100.0	93.1	62.8	A
		生徒が話をじっくり聞いてもらえる環境が整っていると感じる割合	80	100.0	90.8	58.5	A
	協働的な学びの推進	ペア学習やグループワークを通して、自分の考えが深まったと感じる生徒の割合	70	70.6	90.8	60.9	A
「わかる」授業づくり	授業の質の向上	見通しと振り返りを大切に学習過程を実施したと答える教員の割合	100	94.7			A
		授業の目的を理解して活動し、自己の学びを実感している生徒の割合	80		81.6	47.4	B
	生徒一人一人の家庭学習の習慣化	授業と直結した家庭学習課題の提示を行った教員の割合	70	50.0			C
		家庭学習が学年目標時間程度できていると回答する生徒保護者の割合	50		41.0	25.3	B
	ICTを活用した学習活動の推進	ICT(大型モニタータブレット等)を活用した授業をしていると答える教員の割合	65	72.2			A
		授業でICTを活用していると答える生徒保護者の割合	50		78.8	56.5	A
「生徒の心に火をともし」教育の推進	縦割り活動を生かした活動の推進	縦割り活動に意欲的に参加できたと考える生徒の割合	90	94.7	82.9	56.1	A
	体験的な学びの場の設定	総合的な学習の時間などにおける地域やふるさとに関わる体験的な学習の実施をとおして学びが深まったと考える割合	70	94.4	81.6	59.7	A
	キャリアパスポートを生かした目標設定と振り返りの充実	キャリアパスポートの取組で自分の目標設定や振り返りがはっきりできた割合	80	84.2	86.6	45.8	B
「地域と共におよむ」学校づくり	地域と協働した地域での活動の場づくり	地域の活動(行事)に参加していると考えられる生徒の割合	50	80.0	30.9	28.5	B
		地域や社会をよりよくしようとする生徒の割合	50	84.2	55.3	34.8	B
	学校だよりやホームページ、連絡アプリを生かした情報発信	学校の活動内容や様子が分かったり、適切な時期に情報が得られたと考える割合	90	100.0	74.7	65.6	B
	小中連携教育の推進	一中校区の小中学校が連携して活動できたと考える割合	70	80.0	51.4	52.7	B

職員、生徒、保護者の各数値は、肯定的評価の割合。黄色は目標値の80%を下回ったものであり、桃色は60%を下回ったもの。

今年度、生徒会活動を中心に、生徒が企画・立案しながら異学年交流を行い、居場所づくり・絆づくりを行いました。このことをとおして、互いのよさや違いを認め合うとともに、達成感や自己有用感も高まったと思います。

一方、「わかる」授業づくりについては、まだまだ授業と家庭学習がリンクしたスパイラルな学びの実現に課題がありました。授業をきっかけに、生徒の「なぜ?」「本当にそうなの?」という問いを引き出し、それぞれの興味・関心に応じた主体的な学びを促せるよう授業改善を努めていきます。

また、読み聞かせや体験学習などで地域の皆さまにも大変お世話になりました。地域と協働することで生徒の地域に対する愛着や貢献意欲も高まるものと感じています。これからも地域とのつながりを大切に、本物に触れる体験を通じて学びの実感を感じられるよう努めていきます。

今回、様々な取組を保護者や地域の皆さんに発信することに課題がありました。単に、事柄を伝えるだけでなく、ねらいや目的、また生徒の成長の跡や課題点などを明確にしながら次の取組にどうつなげていくかも含めた情報発信に努め、学校を支えていただく皆様に、より本校の活動に関心をもって支援していただけるようにしていきたいと思っております。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

安全・安心な学校づくりのために ～不審者対応訓練～

1月29日(月)に職員研修として不審者対応訓練を行いました。これは、不審者が施設内に来訪・侵入した場合に備え、不審者への対応及び生徒の安全確保等や110番通報訓練を行うことをとおして、不審者対応能力及び危機管理意識の向上を図ることを目的としています。当日は、浜田警察署の皆さまにご協力をいただき、実際に想定した訓練を行いました。訓練とはいえ、不審者役の警察署員の方の迫真の演技に、緊張感いっぱいの訓練でした。生徒の安全を第一に危険を顧みず対応する職員もいました。事後の振り返りでは、生徒の安全も確保しながら、職員自身も安全であることの大切さやそのための対応の仕方について、アドバイスをいただきました。



普段、学校には、日々多くの方が来校され、様々な形で本校の教育活動を支えていただいておりますが、いつどこでこうした対応をしなければならない状況になるか分かりません。来校される際は、職員室にお声をかけていただき、学校の防犯対応にご協力いただきますようお願いいたします。
(教頭 小松原)

PTA生活部 情報モラル講演会

1月23日(火)に、PTA生活部主催「情報モラル講演会」を開催しました。講師は一般社団法人メディア教育研究室代表理事・日本デジタル・シティズンシップ教育研究会副代表理事の今度珠美先生、当日は雪の影響により本校にお越しいただくことができなくなり、急きょオンラインによる開催になりました。「現代社会でICT(情報通信技術)、情報機器を使わない選択肢はない」という切り口から、子どもがそれらの「よりよき使い手」となれるよう、1年生は「メディアバランス」、2・3年生は「デジタル足あと」をテーマに、それぞれの学年に応じた視点で講義をしていただいています。また、先般の能登半島地震から、SNSで大量の情報に埋もれると有益な情報が必要な人に届かなくなること(情報を拡散することが助けを妨げることがある)についても触れておられました。情報機器の操作ができるだけでなく、それを使うためのマナーや知識をもって活用していくことの大切さを学ぶ機会となりました。
(生徒指導主事 段)

地域の人による読み聞かせの 実施について

「朝読書は夢の種」として、本校では全校一斉に朝読書を行っています。この度地域の方による読み聞かせを月に一回朝読書の時間に行うことになりました。

生徒への読み聞かせは、読書生活への誘いだけでなく、想像力や豊かな心情を養い、集中力を高め、リラックス効果もあるといわれています。また、地域の方との交流は、地域に支えてもらっていることを実感できる機会となると思います。地域の方にも、学校の様子をお伝えし、成長した姿を見ていただける機会となることを期待しています。2月2日に初回を行いました。手をおき、心も体もしっかり向けて、お話に聞き浸っている姿がありました。

(司書教諭 遠藤)

～令和6年能登半島地震にかかる募金活動を行いました(生徒会より)～

生徒会書記/募金活動リーダー 中山めぐみ(2年1組)

先日、生徒会の活動として令和6年能登半島地震で被災された方々のために募金活動を行いました。この活動では、被災された方々に応援の気持ちを届けようという思いとともに、一中の生徒の皆さんに福祉活動を体験してもらいたいという気持ちを込め、生徒会で実施させていただきました。この活動により207,307円もの義援金が集まりました。協力してくださった生徒の皆さん、またご家族の皆さんありがとうございました。私たちの思いは必ず被災地に届きます。皆さんのおかげでとても素敵な活動にすることができました。本当にありがとうございました。

